

サブクラスター研究経過報告  
「老後の所得保障における私的年金  
(確定拠出年金)の課題」

臼杵政治  
三澤哲也  
大久保信一

# 研究テーマ

- 私的年金における資産運用などについて(臼杵・三澤)」
- 雇用管理における退職給付のインセンティブ(臼杵・大久保)
- 背景: 公的年金の給付水準が徐々に低下せざるを得ない状況で、私的年金特に確定拠出年金による補完への期待が高まっている
- その一方で、①非正規社員など大企業従業員以外の被用者への制度普及、②ライフサイクルによる個人の効用(ニーズ)に合致した資産運用、についての研究は、特に日本においては発展段階にある
- そこで、この2つのテーマについて研究をするサブクラスターを立ち上げた

# 2015年度の研究実績(1)

- 私的年金における資産運用などについて(臼杵・三澤)
- 「賃金に連動する公的年金に上乗せされる確定拠出年金の最適資産配分について」『年金と経済』Vol.34-3(年金シニアプラン総合研究機構)2015年10月号。日本保険年金リスク学会にて発表。
- 内容は、厚生年金加入者を想定し、厚生年金に上乗せされる確定拠出年金(デフォルト商品)の資産配分に関する考察。
- 要旨は、①引退までに徐々に株式の割合を減らす戦略(グライドパス型)と配分を固定する戦略に差は無い、②購買力の確保を基準(目標)とすると、公的年金の上乗せにより、私的年金単独の場合よりもリスク許容度が増加する。それは賃金上昇率のリスクが低いこと、及び株式の方が債券に比べ、賃金上昇率との相関が低いこと、による。

# 2015年度の研究実績(2)

- 雇用管理における退職給付のインセンティブ
- 退職給付の採用と離職(離職抑止・促進、採用時の選別)における効果について、先行研究のサーベイ(投稿中)
- 正規社員(期間の定めのない雇用)と非正規社員において、退職給付(後払い賃金)に対する意識が、どのように異なるかを、アンケート調査を用いて調査する予定(3月実施)

# 今後の課題

- 私的年金の運用モデルに関しては、①公的年金の水準の内生化、②リターンモデルへの時系列相関の取り込み、③終身年金化を前提とする、ことにより発展させていく
- さらに確定拠出年金を対象とする投資信託の特徴について考察を広げることも考えたい
- 雇用者の意識については、アンケート結果を参考に、①正規と非正規のニーズの比較、②選別可能性、について一定の知見を得たい